

Title	汎函数列ノ擴張ニツイテ
Author(s)	中村, 正弘; 角谷, 静夫
Citation	全国紙上数学談話会. 247 p.1603-p.1611
Issue Date	1942-12-20
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/75025">https://doi.org/10.18910/75025</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 1093. 汎函数列ノ擴張ニツイテ

中村 正弘  
角谷 静夫 (阪大)

初メハツマラナイ問題ダッタノデス。

Pettisノ定理——コウ云ツテイノカドウカ知リ  
マセンガ——<sup>1)</sup>ヲ証明シヨウトシタノガ事ノ始マリダッ  
トノデス。洲之内——中村ノ証明<sup>2)</sup>が長キヤルト思ツタノ  
デ、著者ノ一人(中村)ガコレヲ Gelfandノ compact-  
ness criterionヲ用ヒテミヨウトイフ氣ニナツタノ  
デト。ソレハ Boolean algebra  $B_\lambda = \{e_\lambda\}$ ニ完全  
加法測度ガ定義シレテキタトキ、 $|e| \rightarrow 0$ ニ對シテ  $X(e)$   
 $\rightarrow 0$ (弱)ガ判ツテキルノデスカラ  $S = \{X(e) | e \in B\}$   
ガ  $B$ -空間中デ compactトイフコトヲ云ヘバ充分ダト云  
フコトハ判リ切ツタ節デスカラ……

トコロデ Gelfandノ定理<sup>3)</sup>ハコウ書イテアツタ  
ノデス。

$B$ 空間  $E$ ノ 点集合  $S$ ガ compactデアラルクメ、必要  
充分條件ハ任意ノ  $0$ ニ非收斂スル汎函数列(勿論線型デ  
ス。以下同様)  $\{f_n\}$ ニ對シテ  $\{f_n(x) | x \in S\}$ ガ  $S$   
上デ一樣收斂スルコトデアアル。

ソコデ出来タト思ツタノデス。 Vitali-Hahn-Saks  
ノ定理<sup>4)</sup>ニヨレバ  $f_n X(e)$ ハ実数値ノ函数トシテ一樣收

録 + / デスカラ, トコロボソケハ問屋ガ下シテクレズ,

Gelfand ノ 定理ニハ空間  $E$  / 可分性ガ落チテキタ / ガス。<sup>5)</sup>

コノ = 至ッテ問題ガ変ッテシマッタ / デス。  $X(e)$  / 値域ガ可分トハ限リマセンカラ Gelfand-Phillips / 定理ヲソノマニハ使ヘ + イワケデス。ソコデ  $\|e_n\| \rightarrow 0$  / 取り出シテ,  $\{X(e_n)\}$  / 張ラレル可分部分空間  $E'$  = 對シテ定理ヲ用ヒヨウトイフコトニナッタ / デス。ソコガ  $\{f'_n\}$  /  $E'^* \rightarrow E'$  / 共軛空間  $\rightarrow$  カラ  $f'_n \rightarrow 0$  (弱) / トイフ條件付ガ取り出シタトキ  $f'_n$  / 各ノガ  $E$  = 拡張サレ / テ  $f_n$  トナリ,  $f_n \rightarrow 0$  (弱) / ガ成立ッテラバ, Vitali-Idahn-Saks /  $\{f_n X(e_m)\}$  /  $\{e_m\}$  / ニテ一様収 / 斂シテ  $\{X(e_m)\}$  /  $compact$  / ガ云ヘルダラウトイフ / 想像ガッタ / デス。

コウシテ問題ガ  $\rightarrow$  単純ナ一補題, 所デ呈出サレ / タ / デス。

B 空間  $E$  / 部分空間  $E'$  上テ定義サレタ  $0$  = 弱収斂ス / ル汎函数  $\{f'_n\}$  ハ,  $E$  = 同シ性質ヲ保存シタマニ拡張出来 / ルカ?

最初コレハ何ノ困難ニ + イ問題ガト思ヒ, ツケナク証 / 明シテシマヒマシタガ, 著者ノ一人カラ誤ッテキルエトガ / 示サレテシマヒマシタ。数物ノトキ中村ガシマベツタトキ / コノ状態デシタ。

ソノ線型問題ハ否定的=解カレマシタ。ユノ談話ハ  
ソノ証明デス。

X                  X                  X

カナリ長い前置が始マリマス。(m)ト(C)ヲ各々有界  
数列, の極限=モル係数列ノ作る空間デ, ノルムヲ  
 $\|X\| = \sup_i |X_i|$  デ定義シマス。解答ハ (C) 上テ弱収斂スル  
汎函数列デ, ソノ拡張が (m) 上テハ収斂シタイモノガ  
存在スルト云フコトヲ示スコト=ヨッテ與ヘタイノデス。  
ソノタメ=シバテタ(m)ノ共軛空間  $(m)^*$  = ヱイテ, ソノ  
表現ヲ論ビナケレバナリマセヨ。

$\check{Cech}$  / compactification ヲ使ツテ<sup>6)</sup>, discrete + topology ヲツケタ自然数全体  $N$  ヲ compact-  
ly  $\check{C}$ , embed シス空間ヲ  $\Omega$ ,  $\Omega - N$  ヲ  $\Omega'$  トシマス。  
今 (m) ヲ  $N$  ノ上ノ連続函数ト考ヘレバ,  $\check{Cech}$  / 定理ヲ  
(m) ノ元  $X = \{X_n\}$  ハ唯一通り =  $\Omega$  ノ連続函数  $X(\omega)$   
= 拡張サレルワケデス。逆 =  $\Omega$  ノ連続函数ハ  $N$  上テ  
(m) ノ元ヲ指定シマスカラ  $\Omega$  ノ連続函数全体  $C(\Omega)$  ト (m)  
トハ一致シマス。面倒デスカラ以下  $C(\Omega)$  ト書カズ = (m)  
デ  $\Omega$  ノ連続函数ヲ示シマス。

斯デ  $\Omega$  ハ compact space デスカラ Markhoff  
ノ定理<sup>7)</sup> = ヱッテ (m) ノ共軛空間  $(m)^*$  ノ任意ノ元  $f$  ハ  
ル完全加法測度  $\mu$  = ヱッテ

$$f(x) = \int_{\Omega} X(\omega) d\mu$$

ト表サレ  $\|f\| = \int (d\mu)^{10)}$  が成立ちマス。

Banach, generalized limit  $\Lambda(m)$ , 汎  
函数デスカ<sup>8)</sup> 今コノ積分ノ値ヲ  $\text{Lim } X_n$  ( $X = \{X_n\}$ )  
ヲ表ハセバ,

1°.  $\text{Lim} (\alpha X_n + \beta Y_n) = \alpha \text{Lim } X_n + \beta \text{Lim } Y_n$   
が成立ちマス。今更ニ

$$2°. X_n \geq 0 \rightarrow \text{Lim } X_n \geq 0$$

トイフ條件ハ

$$2'. \mu \text{ が positive テアル。}$$

トイフコトハ同等デアリ,

$$3°. \text{Lim } 1 = 1$$

ハ 3'.  $\mu$  が normalize サレテアル。

トイフコトハ同等デス。更ニ

$$4°. \text{Lim } X_n = \text{Lim } X_{n+1}$$

ハ 4'.  $\mu$  ハ  $N$  上デ 0 デアル, 又ハ  $\mu$  1 マスハ  $\Omega_0$  上ニ  
分布シテアル。

トイフコトデス。更ニ條件ヲカヘテ

$$5°. \text{Lim } X_n Y_n = (\text{Lim } X_n)(\text{Lim } Y_n)$$

ヲ入レレバ, Gelfand, normed ring, 理論  
ハ

$$5'. \mu \text{ 1 マスハ } \Omega, \text{ 一点ニ集マテアル。}$$

コトが結論サレマス。

ユノ  $X$  は Banach limit の Čech compactification と密接な関係ヲ持ッてゐますが、特ニ  
積  $\mathcal{B}'$  と  $N$  と上ニカケテヤレバ

$$(1) \quad f(x) = \sum_{n=1}^{\infty} \lambda_n x_n + \int_{\mathcal{B}'} X(\omega) d\mu$$

$$\sum_{n=1}^{\infty} |\lambda_n| < +\infty$$

又ハ

$$(1') \quad f(x) = \sum_{n=1}^{\infty} \lambda_n x_n + \lambda \lim x_n$$

$$\sum_{n=1}^{\infty} |\lambda_n| < +\infty$$

ノ形デ表サレマス。ユノ後者ノ表現ハ Cohen-Dunford<sup>9)</sup>  
ニヨツテ得テレタモノデスガ、Čech compactification  
デモ上ノ様ニシテ求ムル事カ出来ルワケデス。

X      X      X

マ如前推ガ続キマス。モリ少シ  $\mathcal{B}$  ノ性質ヲ調バテ置  
キタイノデス。マダ  $\mathcal{B}$  ハ totally-disconnected デアルコ  
トハ明ラトデス。我々ハ  $N$  ハ充分ニ知ツテキマスカラ  $\mathcal{B}'$  ノ  
構造ヲ少しばかり知リタイノデス。

今  $S$  ヲ  $N$  ノ部分集合デ有限デイトシマス。ソコデ

$$n \in S \rightarrow x_n = 1, \quad n \notin S \rightarrow x_n = 0$$

で定義される  $(m)$  の元  $X$  を  $\Omega =$  拡張スレバ  $\Omega_0$  へと  $\Omega$   
 へ  $f$  を取ル函数  $X(\omega) \xrightarrow{\omega \in \Omega} f$  シテ連続  $\rightarrow$  スルコトが  
 出来マス。ソコで  $\{\omega \mid X(\omega) = 1\} = S'$  トスレバ、 $X(\omega)$   
 の連続性カラ  $S'$  は  $\Omega'$  の開且閉部分集合ニナリマス。即チ  
 $N$  の中ノ  $S =$  對シテ  $1$ -operation デ  $\Omega'$  の開且閉部分集  
 合  $S'$  が意的的ニ指定サレマス。

逆ニ、今  $\Omega'$  上ニ開且閉集合  $S'$  を與ヘレバ  $X'(\omega)$  を

$$\omega \in S' \rightarrow X'(\omega) = 1, \quad \omega \in S' \rightarrow X'(\omega) = 0$$

で定メテ全空間ニ拡張スレバ

$$0 \leq Y(\omega) \leq 1$$

トイフ  $\Omega$  の連続函数  $X(\omega)$  が得ラレマス。今  $Y(\omega)$  の中  
 $0 < Y < 1$  = 分布シテキル値ヲ

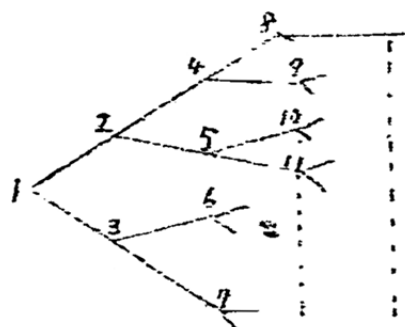
$$Y(\omega) \geq 1/2 \rightarrow X(\omega) = 1, \quad Y(\omega) < 1/2 \rightarrow X(\omega) = 0$$

ト直シテ  $X(\omega)$  を定メ  $S = \{\omega \mid X(\omega) = 1\} \cap N$  で定義スレ  
 ば、 $S$  は有限デハナイ  $N$  の部分列トナリマス。<sup>(11)</sup> コウシテ  $S'$   
 カラ指定サレル  $S$  は高々有限箇ノ差ヲ除イテ一致スルワケ  
 デス。

言ヒカヘレバ、 $\Omega'$  の総テノ開且閉部分集合  $N$  のスベ  
 テノ部分列、 $N$  の総ベテノ有限集合等ノ作ル Boole 代数  
 をソレゾレナ、トスレバ、<sup>(12)</sup>  $\Omega$  は  $\Omega/\mathcal{C}$  = 同型デア  
 ル。

我々ハコノ結論ヲ使ツテ、 $\Omega'$  の中ニ開且閉デ互ニ素ナ  
 部分集合が  $2^{\aleph_0}$  以上アルコトヲ示シタイノデス。 コノ事

ハ上ノ結果ヲ使ヘバ、《 $N$ ノ部分列ノ族ノ中デ、有限  
箇以外ハ互ニ素デ、ノ列ノ数が $2^{\aleph_0}$ 以上存在スルモノガア  
ルカ?》ト云フコトヲス。コレハ、自然数ヲ



ト並ベテ、 $(1, 2, 4, 8, \dots)$ トイ  
フヨリナ枝ヲ列トスル様ナ族ヲ考  
ヘレバヨイワケデス。コレ等ハ互  
ニ有限箇デケシカ共有シマセンカ  
ラ。

※ ※ ※

コレダケノ前置キヲオイテ問題ノ問題ニ取リカゝリマ  
ス。マヅ  $E = (m)$ ,  $E' = (C_0)$  トスレバ  $E'$ ハ  $E$ ノ中ノ閉線  
型部分空間デス。今

$$f'_n(x) = x_n$$

トスレバ、 $f'_n$ ハ  $(C_0)$ ノ上デ  $0 =$  弱収斂シテオマス。ソ  
コデ今  $f'_n$ ヲ何等カノ方法デ  $(m) =$  拡張シタトシマスト、  
前ノ (1)ヲ用ヒレバ

$$(2) \quad f_n(x) = x_n + \int_{\Omega'} x(\omega) d\mu_n$$

ヲ得マス。各々、 $\mu_n$ ハ完全加法的 +  $\Omega'$ ノ上ノ測度デス  
カラ、互ニ素ナ開且閉部分集合ノ中高々デ、 $\epsilon$ 以下デ  $0$ デ  
ナイ測度ヲ持つワケデス。云ヒカヘレバ  $\Omega'$ ノ中ニハ開且  
閉デ  $\mu_n$  ( $n=1, 2, \dots$ )ニ關スル測度ガスベテ  $0 =$  ナ  
ルヤリナ部分集合ガウクトモ一ツ存在スルリケデス。ソコ



デソレヲ  $S'$  トシテ,  $X(\omega)$  テ  $S'$  ノ上デ /,  $\Omega' - S'$  デ  
 $X(\omega) = 0$  トトルヤウナ連続函数トスレバ, (2) ノ後ノ項  
ノ積分ハイツモ 0 デスカラ, コノ  $X = X(\omega) = 0$  シテハ (2)  
ハ

$$(3) \quad f_n(x) = X_n$$

デス. 所ガ空デナイ  $S'$  上デ /ヲ取ルノデスカラ,  $f_n(x)$  ハ  
決マテ収斂シマセソ。

即チ,  $(C_0)$  ノ汎函数列ヲ  $(m) = 0$  ヲ擴張シテミテモ,  
0 = 弱収斂サセルコトハ不可能デス. コレデ問題ノ否定的  
解答ガ得ヘラレタワケデス. 然レ亦ガ問題ハ完全ニ終ツテ  
シマツタワケデハナク, デハ《ドウイフ條件ノ下デコノ定  
理ガ成立ツカ?》トイフコトニツイテハ全ク判ツテオマセ  
ソ. 大体ノところ,  $E$  カラ  $E'$  ヘノ有界ナ射影作用素ノ存在  
スルトキデハナイカト云フノガ豫想ナノデスガ。

1) 岡澤, 談話 (193); Kurisawa, Proc. Imp. Acad.,  
16 (1940) 68-72.

定理1 内容ハ  $\pi(e)$  ガ完全加法測度ヲモツ Boole 代  
数上ガ定義サレタ抽象値完全加法函数ガ弱絶対連続デ  
アレバ強絶対連続デアリ。

2) Nakamura-Sunouchi, Proc. Imp. Acad., 18  
(1942) —. コノ中 §3 ノ証明ハ不必要カクコトガ  
判リマシタ. 後ノ談話ヲ述ベマス。

3) Gelfand, Sbornik 6 (1938), p. 268, Teil II §2.

- 4) 國沢氏 / 前出論文参照。
- 5) Phillips, Trans. A.M.S., 48 (1940), 516-541. 定理 3.11 系。
- 6) 角谷, 位相数学 2-2 (1940) p. 17ff 参照。----- 定理 7 書けば, 完全正則空間  $S$  の對して compact 空間  $\beta(S)$  が存在して (i)  $S \subset \beta(S)$ , (ii)  $S$  は  $\beta(S)$  で稠密, (iii)  $S$  の 有界連続函数への対応  $= \beta(S)$  の 連続函数  $=$  拡張される。
- 7) A. Markhoff, Mat. Sbornik, (193) -
- 8) Bonnach / 本人の角谷, 数論會誌 ( ) p. 参照。
- 9) Cohen - Dunford, Duke Math. Journ., (1939)
- 10)  $C(X)^*$  の元を積分表示するコトは Hildebrandt がマッテイマスが, Hildebrandt は  $\mu$  が有限加法的だと述べています。Čech と Markhoff を使って  $\mu$  が完全加法的だとイフコトが始めて判るワケです。コト事の後で重要な役割を演じます。
- 11)  $\mathcal{H}(U)$  の値は 0 と 1 以外二乗積を保持しません。従って何に  $1/2$  を加けたモカマハナイワケです。ソノ差は有限です。
- 12)  $\mathcal{H}(U)$  は, ideal であるコトは明らかです。